

今回の Topic

軽度認知症用生活支援用具

—— 『くすりコール』 ——

【コンセプト】

軽度認知症の方にとって「服薬管理」と「生活リズムの維持」は重要課題です。

「くすりコール」は、服薬と生活リズムの報知により高齢者の生活を支援します。



—— 「服薬と生活リズムの支援」が必要となる背景 ——

高齢化や認知症問題で課題のひとつになるのが、高齢者の「服薬忘れ」と「生活リズムの維持」です。

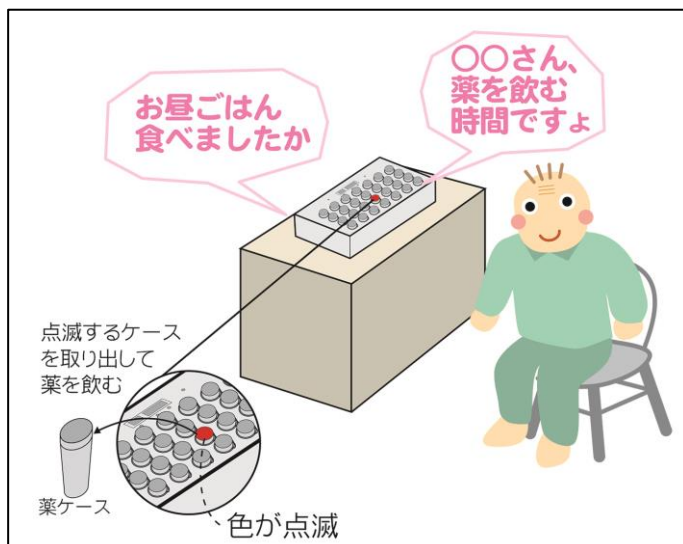
「介護の負担軽減」という観点からも、人が介在しないと服薬できないのに人手が不足しているという現状から、服薬支援機器が新たなサービスとして注目されています。

また、残薬は治療が狙い通りに進まないだけでなく、「医療費のムダ」にもつながるため、最近では社会問題として指摘されています。対策がうまくできれば年間数百億円～3000 億円の残薬削減効果が期待できると言われています。

また、うっかり忘れる軽度認知症高齢者の場合、誰かが生活行動を促す「声掛け」をすれば、生活リズムが維持できます。同居する家族や介護者が近くに居ないケースでは、時間が来ると音声で生活行動を促してくれる支援機器の活用が期待されています

「くすりコール」は、「そんなのあったらいいな！」を実現する福祉用具です。

【活用イメージ】



服薬時刻になると「音声と光で」くすりの服用を促し（くすりモード）音声で生活リズムを報知します（生活モード）

- 1 日最大 4 回、7 日分の服薬を報知します。
- 1 日最大 20 チャンネルの生活リズムを報知します。
- 音声は、近親者の声で録音ができます。
- 「ケアロボ」との連動で、携帯電話・スマホに飲み忘れを報知します。

朝起きることから眠る時間まで、「音声と光」で高齢者の生活を支援できます。



【くすりモード】

- 服薬時間になると音声流れます。
（例）「おじいさん、薬を飲む時間ですよ」（近親者などが録音したもの）
- 服用する「薬ケース」がピカピカ点滅します。
（時間帯別にケースの色と点滅の色が異なる）
- 指定の薬ケースを取り上げるまで、5分おきに繰り返し音声流れます。
- 指定時間内に服薬できなかった場合は、「ケアロボ」と連動して介護者の携帯電話・スマホに飲み忘れを報知します。



【薬ケース】

生活モード

設定した時刻になると音声で生活リズムをアナウンスします

【使用例】

- 7:40 ○〇さん、朝ごはん食べましたか？
9:00 部屋の掃除をしましたか？
10:00 洗濯しましたか？
12:00 お昼ごはん食べましたか？
15:00 洗濯物取入れましたか？
18:00 夕食を食べましたか？
19:00 お風呂に入りましたか？
20:00 戸締りしましたか？
など

【生活モード】

- 生活リズムを音声でアナウンスします。
（例）「おじいさん、朝ごはんを食べましたか」（近親者などが録音したもの）
- 「生活モード」は「くすりモード」と同時に使用できます。
- 高齢者の生活リズムに合わせて1日最大20チャンネル報知できます。
- 本体停止ボタンを押すまで繰り返し報知することもできます。

「くすりコール」の詳細は弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.technosjapan.jp/product/quality/2012/0907223325.html>

ご不明な点やご関心がございましたら、営業担当者またはお客様相談室までお問い合わせください。



「くすりコール」はケアロボと連動できます。

くすりを飲み忘れた場合でもケアロボと連動していれば、「飲み忘れアラーム」が介護者の携帯電話・スマホに報知し、高齢者に服薬を促すことができます。

※昼間独居や老々介護の家で活躍します！